



《将来に向けた取組方針》

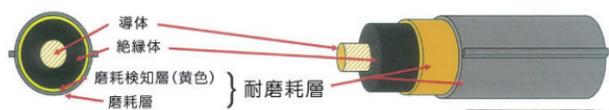
当社グループは、「自利利他、公私一如」を一つの柱とする住友事業精神に基づき、持続可能な開発という社会的責任を果たすため、温室効果ガス排出量の削減による地球温暖化防止はもとより、廃棄物削減によって廃棄物埋立処分場の拡大を抑制して野生動物の生息地確保に繋げるなど、グループ全体での環境保全活動を広げていきます。

下記の事例のように従来から行っている、生態系保護に貢献できる製品・技術の開発、及び地域社会と一体となった取り組みによって、生物多様性保全に貢献していきます。

〈製品開発例1〉森林伐採を最小限にする電線

樹木を伐採できない自然公園法「特別地区」で使用

構造



- ・樹木に接触した状態で布設可能
- ・国立公園等の樹木を保護
- ・耐摩耗層により長期における絶縁耐力を保てる長寿命型

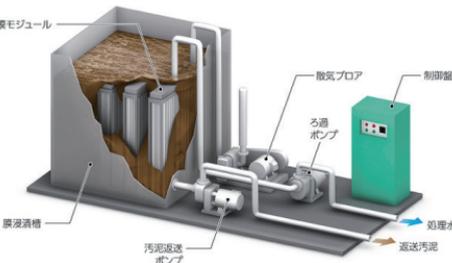


〈地域活動例〉

『昆陽池再生推進委員会』への参画
(2008年04月から活動を継続中)



市民の皆様とともに、「伊丹の自然を守り育てる会 森部会」に参加し、昆陽池周辺の草取りや外来植物の除去で、本来の自然豊かな生態系に戻す活動を実施。



〈製品開発例2〉 きれいな水を自然に 戻す排水処理装置

工場の排水を本装置で処理して、再利用可能な水にして戻すことで、河川や海洋の生態系を保護する。